

福島県立葵高等学校

進路だより

2020年10月30日(金)発行

第 8 号

共通テストに全国で53万5千人余りの受験生(現役生は約45万人)が出願した。本校からは203人が出願している。今日10月30日で共通テストまで78日。あせることなく計画的に学習に取り組みたい。

精神的にきつい秋を乗り切ろう!(3年生)

私自身も経験があることだが、これから実際の試験までが、受験生は精神的に追い込まれる。模試の結果もそう思うようには伸びてこず、周りで総合型選抜や学校推薦型選抜で合格を決める友達も増えてくる。自分は合格できるのだろうか?焦ってくる。

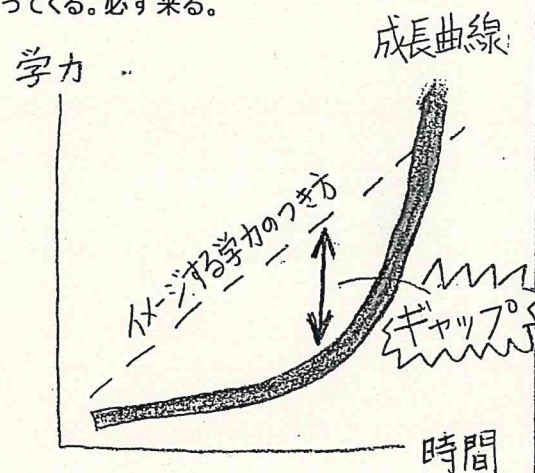
しかし焦ったところで良いことは何一つない。落ち着いて、一日一日こつこつと積み上げていくしかない。心配になって、新しい問題集に手をつける人がいるが、ここまできると、学校から渡されるものを除いて新しいものには手をつけない方がよい。それより、今持っているものにしっかり取り組む勉強をしよう。

現役生は最後まで伸びる。これは本当だ。もしかしたら、最後に伸びる、といった方が現実に合っているかもしれない。模試の結果がEしか取れなかった人でも合格を勝ち取る人が意外という。諦める時ではない。

学力に限った話ではなく、音楽にもスポーツにも当てはまる成長曲線というものがある。右下の図の太い曲線である。多くの人は、学習時間に比例して学力が上がっていくと思っているが、実際はそうではない。しばらく停滞する期間がある。時間をかけているのに、なんで成績が上がらないんだろう?と思う時である。もう少し努力を継続すれば成績が上がってくると信じて勉強を続けると、ブレークする時がやってくる。必ず来る。

よく考えてみよう。学習したことが一度でどんな身についていくだろうか?中には忘れてしまうこともある。それをもう一度頭に入れ直して、また次のことを勉強して、の繰り返し。土台がしっかりしないとその上には積み上がらないし、土台が小さくても積み上がるものは少ない。大きい強固な土台を作り上げている時期が停滞期のだろう。そこを我慢して取り組み続ける人には、その後で大ブレークする時が来るのである。

まだまだこれから。現役生は最後に伸びるのだ!



進路関係の行事予定

10月30日(金) 福島大学出張説明会(1, 2年生の希望者)

10月30日, 31日 ベネッセ・駿台マーク模試(3年)

11月6日, 7日 進研模試(2年)

11月7日(土) 進研模試(1年)

11月7日(土) 2学年保護者対象進路講演会

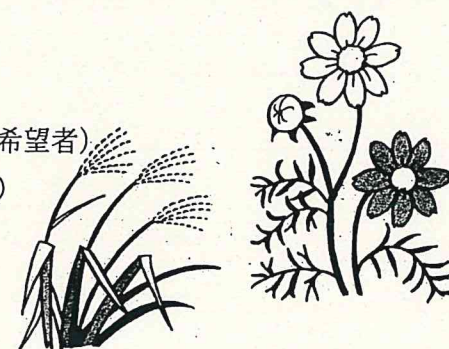
『令和の新しい大学入試に向けて～大学受験の流れと保護者の心構え～』

河合塾仙台校理事 佐々木一幸先生(講師の方が変更になりました)

11月13日(金) 分野別進路講演会(希望者)

『看護職の可能性～“生きる力”を考える～』

福島県立医科大学 看護学部講師 渡邊一代先生



進研模試へ向けて(1, 2年生)

3年の秋は模試のオンパレードであるが、1, 2年生の11月模試も大事な位置づけであることを忘れてはならない。2年生にとっては、初めての5教科受験であり、例年なら修学旅行後に気持ちを切り替えるタイミングとなる模試である。来年の受験を意識する大事な時期である。1年生にとっては、高校入学後の取り組みが結果(成績票)にはっきり出てくる模試である。7月のような中学校の貯金はもう通用しない。どちらの学年も、全国の中の自分の位置を改めて確認しよう。

模試は受けることより、むしろ、受けた後の方が大事である。受験後っていつのこと?まずは模試の当日から数日後までの間と、成績票が返ってきたとき。少なくとも2回は復習するタイミングがある。

まずは、受験直後の解き直し。できた問題もできなかった問題も、もう一度解き直して解答解説でまるつけをする。この時、答えが合っている、解答解説を一通り読むこと。自分の考え方が正しいかどうか、そしてその問題を解くために他の考え方がないのかどうかを確認しよう。また、間違った問題やできなかった問題は、その原因を考えること。そして、次に同じような問題を見た時には解くことができるように、未来の自分へのアドバイスを赤ペンで書いておこう。抜けていた公式や性質があればそれを解いたところに書いておく。時間はかかると思うが、ぜひともやってほしい勉強だ。

この勉強を模試の度にしていく。先生によっては模試ノートを作らせる人もいる。模試ノートは自分のオリジナルの参考書になり、これを模試の前に見れば、自分の弱点を短時間で確認できることになる。

成績票が返ってきたときのことはその頃を書く。まずは、受験直後の模試の解き直しを11月の週末にやってみよう!